

小学校 5年 道徳 学習指導案

実践名：「情報を発信する場合のルールやマナーを守る」

小学校第5学年 道徳学習指導案

日 時：平成23年11月〇日（〇）

場 所：田浦小学校 5年1組教室

授業者：5年1組担任 教諭 今脇三仁

1 主題名 きまりの意味を考えて

題材名 これもチェーンメール【4－（1）】（道徳5「希望を持って」東京書籍）

2 主題について

（1）ねらいについて

本主題は、内容項目4－（1）「公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にし、進んで義務を果たす。」の価値、「法やきまりの意味をよく考え理解し、これらを守ろうとする態度を養うこと」を目標としている。世の中の法やきまりの意義を理解して、これらを守る遵法の精神をもつことは、社会生活を営んでいくうえでとても重要なことである。

この時期、児童の活動においても、学級内の仲間同士の小集団から、学校全体にかかわる集団（委員会や児童会活動）での活動の場が広がっている。また、パソコンや携帯電話等でインターネットや電子メールをある程度自由に使える児童が増えてきており、社会生活の広がりがある。その分、トラブルにも巻き込まれる危険性も高く、ネット上のきまりも、社会生活上のきまりとしてその意味をよく考えて理解して守ろうとする態度を養う必要がある。そのためにも、社会の一員としての役割の自覚や責任感を深めながら、法やきまりを主体的に守ろうとする態度を養うことは大切であると考えられる。

（2）児童の実態について（在籍数〇〇名）

アンケートの結果は以下の通りである。

- | |
|--|
| ①携帯電話やパソコンでメールを送ったことはありますか。（ある 名、ない 名） |
| ②チェーンメールという言葉を知っていますか。（知っている 名、知らない 名） |
| ③知らない人から手紙やメールをもらったら、どんな気持ちになりますか。 |

④あなたは、知らない人から「友だちの住所を教えて」というメールがきたら、どうしますか。

（メールを送る 名、メールを送らない 名、わからない 名）

⑤あなたは、知らない人から「募金をするように呼びかけのメールを友だちに送って」というメールがきたら、どうしますか。

（メールを送る 名、メールを送らない 名、わからない 名）

（3）資料について

はるきに「子ねこを助けて」というチェーンメールが来た。「子ねこを助けるためだったら」とメールを回してしまう。翌日、よしなが先生に「チェーンメールはどんな内容でもいいけない」と注意される。ルールを守ることの厳しさや大切さを、はるきの心情に共感することで考えられるようにしたい。チェーンメールに対して、どのように接していけばよいかを考えることができる資料である。

(4) 指導にあたって

- ア 導入では、ねらいとする価値に目を向けさせ、本時への課題意識を高めることができるように、明らかなチェーンメールを提示し、問題点を想起させる。
- イ まじめな内容であっても、不特定多数の人たちに送られたり、終了期限のないメールだったりする場合、ネットワークの混乱を引き起こすことを、具体的な図（樹形図など）を見て、その大変さを理解し、メールを送るきまりを守ることの意味や大切さについて気づかせる。
- ウ 終末は、決意表明を強いることなく、余韻や充実感、希望を感じさせながら終わるようにする。

(5) 情報モラル教育の視点から

- ア 本時は、「モデルカリキュラム」の目標「2. 法の理解と遵守」、項目「c3-1：情報の発信や情報をやりとりする場合のルール・マナーを知り、守る」との関連を重視して展開する。
- イ 本時の展開においては、まじめな内容のメールであっても、不特定多数に送る内容であれば、自分を律し、適切に行動しようとする正しい判断力やきまりを守ろうとする公德心をはぐくむことができるようにする。
- ウ 心のノートを活用し、日常生活でルールやマナーを守ることのよさを実感させる。
- エ ルールやマナーを意識する場として、音楽発表会や社会科見学など学校行事を生かす。

(6) 人権教育の視点

- ア 自分の考えを、自信を持って発表できるような支持的風土づくりに努める。
- イ 他の人の意見も尊重しながら、ともに学習しようとする態度を育てる。

3 本時の学習 (1 / 1時間)

(1) ねらい

ルールやきまりがあることの意味を考え、尊重する態度を育てる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問と児童の反応	教師の指導と評価	備考
導入	10分	①知らない相手から手紙が来たら、どう思うのか話し合い、めあてを提示する。	○このような手紙が来たら、どう思いますか。 ・こわい。 ・だれが出したのか不思議に思う。	・チェーンメールを知らない児童もいると考えられるので説明をする。	
		チェーンメールについて考えよう			
展開	20分	②「これも、チェーンメール」を読んで話し合う。 ・いけないことだが、子ねこのために…という葛藤場面を考える。	○送り先を選んで、送信ボタンをクリックしたとき、はるきはどんなことを考えたか。 ・早く飼い主が見つかるといいな。 ・子ねこを助けるためだったら、しょうがなかったよな。 ○はるきは、チェーンメールのことを、どのように考えていたか。 ・チェーンメールは人を困らせるもの。今回は大丈夫。 ・いい内容であれば、いいのではないか。 ○チェーンメールはルール違反で絶対にしてはいけないと聞いて、どんなことを考えたか。 ・まじめな内容でもしてはいけないんだ。 ・自分勝手にきまりを判断してしまった。 ・きまりを絶対に破らないようにしよう。	・子ネコを助けるために行動した行為を正当化しようとする思いに同調させる。 ・子ねこのためであれば、きまりを破っても大丈夫という考えは、私たちにもあることを理解させる。 ・チェーンメールの指示通りにしてしまうと大変な量のメールを送ることになってしまう様子を、図などを用いて理解させる。	
	10分	③よく考えて守らなければならないきまりについて振り返り、話し合う。	○チェーンメール以外に、守らなければならないきまりにはどんなものがあるか。 ・電車やバスなどでは携帯電話で話さない。 ・画像を無断でコピーしてはいけない。 ・個人情報勝手にインターネットなどで載せてはいけない。	評価 きまりの意味をよく考えようとする視点ではるきの反省を理解できたか。(発言・ノート)	
終末	5分	④先生の話聞く。		・募金活動において、教師が体験した話をする。	